

# 〔報告〕 展示公開施設の館内環境調査報告 —平成19年度—

吉田 直人・佐野 千絵・石崎 武志

## 1. はじめに

保存修復科学センター（平成19年度より、従来の保存科学部と修復技術部が統合して改組）では、博物館・美術館などの文化財公開施設において、借用などの移動を伴う文化財などの展示があるときに、当該施設の館内環境調査を文化庁美術学芸課と協力して行っている。その調査については以前述べたが<sup>1)</sup>、平成5年度からは各館ごとに、その規模や施工時期などについて、予め定まったフォーマットに従って整理している。平成5年度～18年度についてはすでに報告したので<sup>2～15)</sup>、ここでは平成19年度に行った館内環境調査に関して概括する。集計方法などは既報と同じである。相談件数およびその経時変化、相談館の地域分布、開催時期、借用計画をたてた時期、コンクリート打設完了から開館までの期間について図示する（図1～6）。また、平成19年度に報告書を作成した25館（このうち3館については、19年度中に2回報告書を作成）の基礎データを表1に記す。

表1 調査館の基礎データ \* )は改築, \*\* )は改修に関するデータ

No.	着工	コンクリート打設完了	竣工	開館	借用期間	延面積 (m <sup>2</sup> )	展示面積 (m <sup>2</sup> )	収蔵面積 (m <sup>2</sup> )	博・美	運営団体
1	1987.11	不明	1989.09	1989.11	2007.09-11	2933.63	977.56	723.2	美	市
2	1998.02	1999.02 (収蔵庫は1998.06)	1999.09	2000.04	2008.01-03	6745.187	1323.382	578.911	美	県
3	2005.03	2005.11	2007.03	2007.10	寄託品収蔵展示 2007.06-08, 2007.08-09	1008.9	201.34	83.08	博	市
4	1999.03	2000.03	2000.12	2001.10		6856.47	1593.07	1128.81	美	県
5	1987.11	1987.12	1988.03	1988.11	2007.05-09 2007.10-12	545.34	228.5	51.45	博	市
6	2005.11	2006.05	2007.07	2007.10	所有指定品収蔵	約28,200	約9,600	約2,300	博	財団
7	1981.06 増築: 1994.05 (収蔵庫) 改築: 1995.05	1981.07 1994.11	1982.03 増築: 1995.03 (収蔵庫) 改築: 1995.12	1982.11	2007.09-11	2,680.20 (既1398.65 増1281.55)	921.91	817.08	博	市
8	2004.05	2006.01 (収蔵庫)	2006.12	2007.03	2007.09-10	4465	812.68	146.3	美	財団
9	** 1999.10 (改修)	既存施設	2001.03 (改修) 1928.04	2002.06 (改修後)	2007.10	1569.89	355.19	106.64	博	学校法人
10	** 2006.09	既存施設	2007.03	2007.05	2007.05	871.04	206.2	210.6	博	町
11	** 2002.11	2003.08 (収蔵庫・展示室)	2004.05	2005.10	2007.05-06, 2007.10-2008.03	8760	2764	1474	博	県
12	1996.06	1997.06	1997.10	1997.11	2007.08	490	274	86	博	町
13	2000.03	2001.06	2001.10	2003.10	2007.10-11	3076.09	291.38	329.24	博	学校法人
14	1986.01	1986	1986.11 2007.05 (収蔵庫)	1987.10	2008.08-09	1760	297	183	博	財団
15	2000.09	2001.07	2002.04	2002.10	2007.10-11	1679			博	市
16	2001.06	2001.12	2003.03	2003.03	2007.09-12	2133.54	412	465	博	市
17	2005.11	2006.08	2007.03	2007.10	2008.01-03 2007.09-12	5,954 (博物館)	1400	1150	博	県
18	1999.03	2001.02	2001.09	2002.04	2007.07-10	27461.41	4985.62	1640.66	美	県
19	1988.10	1988.03	1989.07	1989.10	2007.10-2008.02	712			博	市
20	2002.10	不明	2004.10	2005.03	2007.10-12	19,252.45 (劇場を含む)	2002	711	美	県
21	2004.01	不明	2006.02	2007.03	2007.10-12, 2007.07-09	9051.5	2820.67	2005.36	博	県
22	2002.12	2004.09	2005.07	2005.08	2007.09-11	6200	1791	239	博	市
23	1999.06	2000.04	2001.03	2002.11	2007.10-11	15991	6100		美	市
24	1988.06	1989.02	1990.07	1990.02	2008.02-03	3360.89	878.84	154.27	美	市
25	2004.10	2005.12	2006.11	2007.11	2007.10-2008.03	13165	2818	3005	博	県

## 2. 相談館全体の傾向

相談件数および相談館数については、図1のとおりである。昨年同様、博物館・美術館の新設件数は少なくなった。相談件数は前年度は898件だったが、今年度は552件であった。

相談館の地域分布は、関東、中部、近畿地方の公開施設が多かった（図2）。

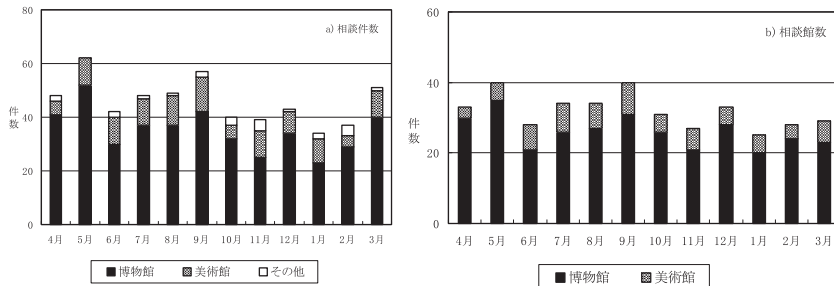


図1 保存環境に関する相談件数（平成19年度）

a) 相談件数 b) 相談館数

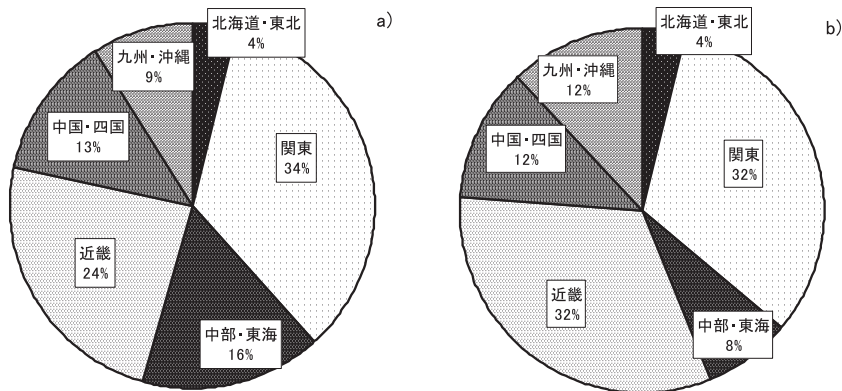


図2 相談館の地域分布（平成19年度）

a) 相談館全体の地域分布 b) 平成19年度館内環境調査報告書提出館25館の地域分布

## 3. 平成19年度館内環境調査報告書提出館25カ所の傾向

開館から借用までの期間は、6ヶ月以内の施設が全体の13%、7ヶ月から1年以内のものが4%であり、開館から1年以内の指定品展示に関する環境調査が17%であった（図3）。竣工から開館までの期間は、前年度は平均7.0ヶ月であったが、今年は8.8ヶ月であった（図4）。開館時期については、例年は4月が多いが、平成19年度は10月、次いで11月に多かった。（図5）。コンクリートの打設完了時期から開館まで、短い館では約4ヶ月、長い館では30ヶ月であり、平均では18.4ヶ月であった（図6）。

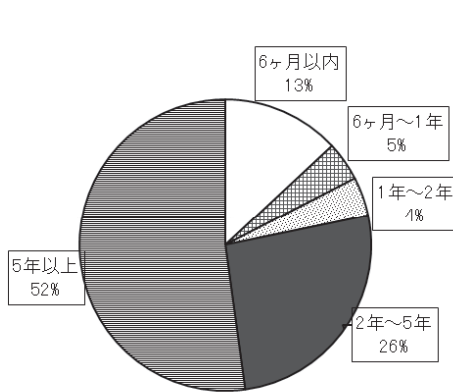


図3 開館から館内環境調査報告書を必要とする資料を借用するまでの期間

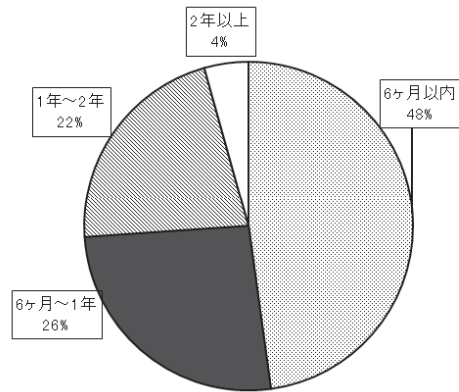


図4 竣工から開館までの期間

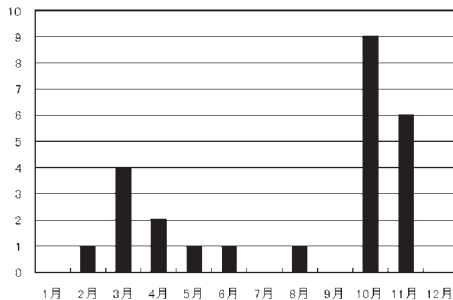


図5 平成19年度館内環境調査報告書提出館の開館月

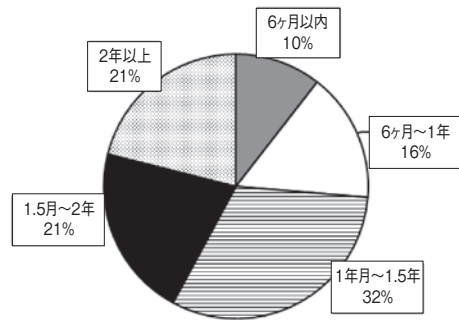


図6 コンクリート打設完了から開館までの期間

## 4. 考察

平成19年度は、環境調査報告書提出館のうち、過去1年間に開館したものが全体の17%で、5年以上経過した館は約半数であった。これに対して前年度は、過去1年間に開館した館が25%、5年以上経過した館も25%であった。今年度は、開館後数年経過した館への報告書提出が多かったが、開館後なるべく早い時期に指定品を借用・展示したいという要望も少なくない。なるべく短期間に、展示室、収蔵庫の空気環境を正確に測定することなどへの要請が多かった。しかしながら、館によって多少の差異はあるものの、展示室、収蔵庫内の酸、アルカリ環境は2夏を経ないと中性にならない場合が多いので、十分かつ適切に空気環境をチェックする必要がある。

## 5. おわりに

東京文化財研究所では毎年7月に、文化財保存施設で資料保存を担当する学芸員を対象とした"博物館・美術館等保存担当学芸員研修"を2週間にわたって実施しています。この研修では、温湿度制御や汚染物質対策、また生物被害対策といった館内環境管理、さらに資料の種類による劣化要因と修復に関する講義や実習がカリキュラムとして組み込まれており、資料保存に必要な基礎的かつ幅広い知識を習得していただくことを趣旨としています。参加者の募集要項は2月ごろ、各都道府県教育委員会を通して各館に配布されます。例年、応募者が受け入れ

可能人数を上回っているため、やむを得ず選考を行っていますが、是非とも応募を検討してください。

謝辞 本報告の作成にあたり、データ整理を行って頂いた市川久美子氏、内藤百合子氏、猿渡香穂里氏に深く御礼申し上げます。

#### 引用文献

- 1) 三浦定俊, 佐野千絵, 石川陸郎: 新設博物館・美術館における保存環境調査の実際, 月刊文化財 (平成5年4月号), 355, 34-42 (1993)
- 2) 佐野千絵, 三浦定俊: 国指定文化財公開施設のシーズニングについて - 平成5年度展示施設の館内環境調査から -, 月刊文化財 (平成7年9月号), 384, 4-11 (1995)
- 3) 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告 - 平成6年度 -, 保存科学, 35, 74-79 (1996)
- 4) 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告 - 平成7年度 -, 保存科学, 36, 98-103 (1997)
- 5) 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告 - 平成8年度 -, 保存科学, 37, 153-157 (1998)
- 6) 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告 - 平成9年度 -, 保存科学, 38, 187-191 (1999)
- 7) 石崎武志, 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告 - 平成10年度 -, 保存科学, 39, 87-90 (2000)
- 8) 石崎武志, 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告 - 平成11年度 -, 保存科学, 40, 136-140 (2001)
- 9) 石崎武志, 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告 - 平成12年度 -, 保存科学, 41, 157-161 (2002)
- 10) 石崎武志, 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告 - 平成13年度 -, 保存科学, 42, 123-127 (2003)
- 11) 石崎武志, 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告 - 平成14年度 -, 保存科学, 43, 113-117 (2004)
- 12) 石崎武志, 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告 - 平成15年度 -, 保存科学, 44, 173-177 (2005)
- 13) 吉田直人, 佐野千絵, 石崎武志: 展示公開施設の館内環境調査報告 - 平成16年度 -, 保存科学, 45, 277-281 (2006)
- 14) 吉田直人, 佐野千絵, 石崎武志: 展示公開施設の館内環境調査報告 - 平成17年度 -, 保存科学, 46, 327-331 (2007)
- 15) 吉田直人, 佐野千絵, 石崎武志: 展示公開施設の館内環境調査報告 - 平成18年度 -, 保存科学, 47, 247-251 (2008)

キーワード: 博物館 (museum); 館内環境 (environmental condition); 空気環境 (indoor air pollution); 温湿度 (temperature and relative humidity)

## Annual Report on the Inspection of Museum Environment in 2007

Naoto YOSHIDA, Chie SANO and Takeshi ISHIZAKI

The National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, in collaboration with the Agency for Cultural Affairs (Bunkacho) advises museums on how they should design their facilities to provide adequate environment for the exhibition of nationally designated cultural objects. This report shows the results of inspection in 2007.

The number of advice given was 552 in 2007. Results of inspection were reported to 25 museums in 2007 for their exhibition.

